

様式③

提出日 2020年 1月 16日

## 2019年度 琉球弧研究支援 報告書

研究テーマ「 宮古バブルによる環境変化と島民に与える影響 」

氏名：宇根愛子、仲地楓華

所属学部学科：人文学部 こども文化学科

## I. 初めに

私たちは「宮古バブル」と騒がれている宮古島について、現地に行き調査を行った。

## II. 研究の目的、動機

騒がれている「宮古バブル」とは何なのか疑問に思い、また、その問題によって変化した環境、島に住む人々に与える影響について理解する。

## III. 研究方法、地域、期間

- ・研究方法：資料収集、インタビュー、映像、新聞等
- ・地域：沖縄県宮古島市平良 伊良部島
- ・期間：2019年9月11日～2019年9月13日（2泊3日）

## IV. 結果

宮古島が「宮古バブル」と言われている理由は、2015年1月に開通した伊良部大橋と2019年3月に開業した下地島空港が原因とされている。離島どうしを結ぶ橋としては日本最長の伊良部大橋と、宮古島の第二の窓口ともいえるリゾート感溢れる下地島空港。この2つが島のPRとなり国内外からの観光客が増え、宮古島はここ3、4年で栄えた。また、昨年度に警備強化として自衛隊約400人が配備された。このように、今の宮古島は外から見ても分かるほど大きく変化しはじめている。しかし、内側（住民の目線）から見ると変化はしているが、その分問題も並行して起きている。それは、住民の住宅問題やホテルなどの宿泊施設の不足、地価の値上がりなど、今までに起きたことのない事が島全体の問題となって挙げられている。

「宮古バブル」を全体的に見ると、伊良部大橋と下地島空港のスタートを節目にメリット、デメリットの両方が宮古島に住む人たちに影響を与えている。

メリットは、「宮古バブル」が始まった3年前から島内の生活保護受給世帯が減少傾向になっていることだ。なぜなら、いま宮古島ではすべての事業で人手不足が問題となり島内や島外に呼び掛けていて、3、4年前と比べて働く側が仕事を選択できるなどといった利点が増えた。

その一方で、建築・土木業の人手不足が原因で島内での建築に関して詐欺の発生や、地価の値上がりで家賃の高騰が起きて、それが原因で家主と住民との間に問題が生じるなどのデメリットが挙げられる。

## V. 考察、分析

このように、島をリゾート化し観光地を作ることで国内外からの観光客が増えて、宮古島を潤すことは可能だ。しかし、それに伴って問題が生じるだろう。急なリゾート化で観光客が想像していた以上に訪れて、宿泊施設の不足が問題となる。それを補うために、

島の建築・土木業者が一斉にホテルなどの宿泊施設や大型スーパーなどの建設をはじめ。しかし、依頼件数が多く、島内の業者では補えないため島外や海外の業者の助けをもらいながら進めていくが、業者の宿泊施設の手配や雇う時の一人当たりの単価が上がるなど、島内の企業を苦しめる結果となる。

そして、建設業や不動産業など多くの企業が土地の売買をやり始めて宮古島の地価は急激に上昇する。それに伴って、新築のマンションやアパートはもちろん、築年数が古くバブルが始まる前から住んでいる物件でも家賃が高くなり、空き部屋などの不足も問題となっていて、島出身の若者や住民が宮古島に住むことが困難になりつつある。

## VI. 今後の展望

「宮古バブル」が原因で生じるメリット、デメリットをこれから島の人たちがどのように対処していくのか、または、どう付き合っていくのが鍵になると考える。島民が待ち望んでいた伊良部大橋の開通や下地島空港の新ターミナルの開業。そして、この2つをベースとして始まったリゾート開発。これらをうまく使い分けることで、今以上に宮古島は利益を得て活性化するだろう。

原地点では、島の人たちからの下地島空港に対する期待や不安は多いだろう。施設的には文句なしに魅力的だが、運行状況は期待以下だと考える。だが、島の人たちはいまの宮古空港と並ぶような、いい形で利用できる需要のある空港になることを期待しているだろう。それを現実にするには、多くの努力や忍耐が必要とされる。そのために、もっと地元経済が成長しなければならないと私たちは考える。

## VII. 終わりに

この研究を通して、「宮古バブル」とは島全体ではなく一部に対して言われていて、利益だけではなく欠点も生じることが分かった。また、環境が変わりすぎて島民に与える影響が大きいと感じた。これらの問題を解決して利益を得ることがこれからの宮古島の課題となり、また、島の成長に繋がると思う。今回の研究で、地域が抱える問題に興味を持ち、現地で調査を行い積極的に触れることができた。そして、少子化や過疎化などといった環境問題を解決し、未来に繋げるための大人たちの努力を見ることができた。

## VIII. 参考文献、調査協力

(株) 八千代バス・タクシー 高江洲 行成さん

住宅情報センター株式会社

アパマンショップ宮古島店 平山 将也さん

## IX. 指導教員コメント

「宮古バブル」の実態が明らかにされ、そのことで多くの問題が（例えば、部屋代の上昇）が生じているのが分かった。と同時に、それが宮古島の一部に対して言われていることを把握したのは、調査の結果であるが、この点についてももう少し述べるとよかった。